



八千代病院 内科系後期研修プログラム

当院の内科は消化器、循環器、呼吸器、腎臓、内分泌代謝、神経、そして総合内科の各専門科で構成されており、後期研修のプログラムとしては、原則各専門科を3カ月ずつ、最後に自分が専門としたい科に配属、という形が一般的である。ただ、プログラムは柔軟であり、濃厚に回りたい科、回らない科などを独自に決め回ってもらう。また、他科研修中でも例えば週に一回は消化管内視鏡検査を行うとか、急性心筋梗塞の場合は心カテに参加するなどといった柔軟な回り方も十分に可能である。

以下に各専門科の研修プログラムの一例を示す。

【消化器内科】 指導医2名

- 日本内科学会研修プログラム2011に沿い、各消化器疾患の副主治医となり管理を行う。
- 上下部消化管透視、腹部超音波検査を上級医、検査技師の指導のもと行い診断する。
- 上部消化管内視鏡を上級医の指導のもと行い診断する。
- 超音波ガイド下の経皮経肝穿刺、腹水穿刺を経験する。

【循環器内科】 指導医2名

- ABPなどを用いた急性心不全患者の管理、治療を一人で行えるようになる。
- 心エコー、トレッドミル負荷心電図などの非侵襲的検査を診断まで一人で行う。
- 診断カテーテルを上級医の監督のもと一人で行える。
- PCIを上級医の指導のもと主で施行する。
- アブレーションの見学、助手など。

【呼吸器内科】 指導医1名

- 胸部レントゲン、CTの読影。
- 肺炎、喘息などの急性疾患の初期治療、また慢性疾患のマネージメント。
- 結核の診断と治療について:検査方法と画像診断、抗結核薬の選択など。
- 肺癌の診断と治療について:検査方法と画像診断、抗癌剤と治療方針の選択など。
- 禁煙治療について。

【腎臓内科】 指導医2名

- 腎臓内科入院患者の担当。
- 血液浄化センターにて血液浄化患者の診療。
- 腎疾患診察に関する検査、シャント手術などの担当。

iii 【内分泌代謝内科】指導医2名

- 糖尿病:八千代内分泌・代謝内科チーム(MCT-YACHIYO; Metabolism Control Team)と濃密なディスカッションを行いつつ、各糖尿病患者のライフデザインにマッチした医療を推進できるトレーニングを行う。
 - *負荷試験等のデータ解析、及び患者を納得させる説明トレーニング。
 - *妊娠糖尿病、各疾患に併発する糖尿病などの管理、また循環器、腎臓内科と連携した合併症管理。
 - *地域糖尿病専門医療機関と共同で支援している糖尿病患者会「いきものイキイキ会」への参入など。
- 甲状腺疾患:甲状腺ホルモン代謝、甲状腺機能の変動の原因を探り、病態にあった治療を目指す。
 - *産科不妊治療チームとの連携で早期の甲状腺機能異常に伴う不妊を見つけ、当院の特長の一つである不妊センターの成功率をアップする支援を行う。
- 電解質代謝、水代謝に関わる様々な病態把握のための基礎代謝の治療。

iii 【神経内科】指導医1名

- パーキンソン病や認知症、脳血管障害などの診断と治療のスキルの習得。
- 認知機能検査全般、例えばADAS-J cogなどの神経心理検査の習得。
- 失語症などの高次脳機能の知識の習得が可能(専属の言語聴覚士が指導)。
- 心理学的知識の習得が可能(専属の臨床心理士が指導)。

iii 【総合内科】指導医2名

- 臓器別に研修していく中で忘れがちな、疾患を生体全体として扱う、ということに立ち戻るとともに各科にまたがる疾患、他科との境界領域にある疾患について研修する。
- 身体所見—皮膚、眼科、耳鼻咽喉科的所見も含めて—を取ることができる。
 - 非侵襲的検査の手技を習得し診断を下すことができる。
 - 検査所見の解釈。